第６号様式（第５の２関係）

議　事　概　要

会　議　名	令和７年度第２回霧島警察署協議会
会議日時	令和７年10月17日金曜日　午後２時00分から午後５時00分まで
会議場所	霧島警察署大会議室
出　席　者	１　警察署協議会　会長以下　13人 ２　警察署　　署長以下　14人

１　会議の概要
⑴　会長挨拶
⑵　署長挨拶
⑶　代表者協議会の内容説明
⑷　協議
ア　警察署業務説明
イ　協議員からの意見・要望等に対する回答
ウ　諮問・答申
エ　次回開催日日程協議
オ　警察活動視察

２　協議員からの意見・要望等に対する回答

（委員）　右折矢印設置要望
姫城交差点の都城隼人線側に右折矢印信号を設置できないか。
（回答）　信号機への右折矢印設置は可能であるため、今後、同交差点の交通量を確認しながら、警察本部と検討する。

（委員）　交差点での交通事故が多い場所
日当山小学校北側交差点、姫城交差点、姫城三丁目交差点の信号機が同調していないため、信号機の見間違えによる交通事故が多い。
（回答）　日当山小学校北側交差点における交通事故について、過去５年間を確認したところ、赤色信号無視が起因する交通事故が５件発生している。
今後も、運転者に緊張感を与える警ら活動や交通指導取締りなどを行い、交通安全活動を推進する。

（委員）　横川町（銀行近くの信号機）について
午後10時以降、点滅信号となるが、県道55号線に流入する際、見通しが悪く危険であることから、点滅信号にせず　定灯信号のままが良いのではないか。
（回答）　同信号機は、午後10時から午前６時まで閃光運用（点滅信号）している。
その理由は、交通量が少ないからであり、定灯運用した場合、待ち時間中に赤色信号無視を誘発する恐れがあることから、閃光運用が望ましい。

（委員）　外国籍の在住者に対し、警察署内で「優しい日本語」の研修を開催してほしい。
（回答）　多国籍の在住者に対する研修であれば、出入国管理庁に問い合わせていただければと思う。
当署では、平成11年に「霧島警察署管内国際化対策協議会」を結成し、外国人の方々、ボランティアの方々と交流をはかっていたが、ボランティアの高齢化に伴い、令和５年に解散している。

（委員）　外国籍の在住者に対し、自転車の乗り方研修を「優しい日本語」で実施してほしい。
（回答）　要望があれば実施する。

（委員）　多言語に対し、翻訳機の導入をしてほしい。
（回答）　地域警察官が、翻訳機能が付いた資機材を携行しているので、外国人の方々との取扱いがあった場合は、同資機材を活用している。

３　諮問・答申

⑴　諮問

若手職員の人材育成について

※　当署職員の年齢割合、警察での若手育成方策等について説明。

委員において

職場における育成方法

心に残っている教育方法

等があれば意見を意見をいただきたい。

⑵　答申

（委員）　職員の家族、家庭環境等のベースを見つめることも大事である。

（委員）　先輩がやっていることを盗み取る「ベンチマーキング」も必要であり、良いこと悪いことを盗み取れと教えてきた。

また、若手には、「あいさつを先にするように」指導していた。

（委員）　「霧島警察署のここがおかしい」という若手の意見、転勤者の意見を拾えば、まだ警察署が良くなっていくのではないかと思う。

（委員）　自分の目標を意識する人が少ない。

目標に向かって進むことを先輩方が教えることも必要である。

（委員）　署幹部や先輩方が、現代にアップデートすることも必要である。

（委員）　現代の若者は、色々な問題をいくつも抱えていると思う。

５個の問題があれば、まずは１個解決するように指導した。

１個解決すれば、気持ちが軽くなる。

４　次回の警察署協議会日程

来年２月に開催する。

５　警察活動視察

鹿児島県警察航空隊警察用航空機の視察を実施。

備　考	